

- ・コラム「お遍路参り」(杉浦 良)
- ・お知らせ
- ・職場体験実習を終えて
- ・スタッフ雑感(宮浦 正浩)
- ・メンバーのコーナー
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2008年6月 126号

—「お遍路参り」—

杉浦 良

昨年3月末、京都ナンバーの8人乗りワンボックスカーが、地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所にやってきました。車には児童福祉施設「白川学園」のメンバー4人と、職員2人が乗っていました。家庭でのフォローが困難な重い障害を持つ子供たちが暮らす、日本で2番目に古い施設です。ただ入ってくる時は子供ですが、大人になっても出て行く場所がなければそのままとどまるしかないのが現実です。長年そこで暮らす、20代から30代まで

の重度の知的ハンディーを抱えたメンバーたちの可能性を探って、歩行トレーニングをしながら、四国霊場八十八箇所参りを続けています。

今年6月14日夕方、昨年と同じ車に、白川学園のメンバー3人と職員1人学生ボランティア1人、そしてメンバーのお母さん2人が、太陽と緑の会月の宮生活棟にやってきました。挑戦すること9年目のお遍路参りです。これまで月の宮生活棟で1、2泊することで続けてきたお遍路参りに、今



鮎喰川河川敷のクリーンアップ
様々なハンディを持ったメンバーも、
3時間、ゴミ拾いに汗を流しました。

年はなんとメンバーのお母さん2人が初参加しました。毎年時間を工面しては歩き続け、来年10年目に、八十八箇所全てを走破できるところまでたどり着きました。今までに歩いた距離約500キロ、メンバーの調子が悪い時や時間的都合で車を使うこともあります。なるべく自力で歩くことを前提としています。今まで10名ほどのメンバーや職員が、入れ替わり立ち代り歩き続けました。現在までの道のり全てをクリアしたのは、メンバー1人と計画した職員一人になりました。車に着替えや食料、お茶や寝袋まで積み込んでのデコボコ行脚は、苦しさもありますが、歩き終わった後の達成感につながります。お遍路さんの中には様々な障害や病気の回復を祈願し、巡礼し続ける方々の存在がありました。弘法大師空海の修行した足取りを辿るその姿と、「動く重症児」とも呼ばれる彼らが、どこか重なります。遍路のイメージとして、野村芳太郎監督の映画「砂の器」の海岸線を歩く親子の姿が、私にあります。重くのしかかった運命を背負って、ひたすら歩き続けるハンセン病患者の父親と連れ添う子供を、雄大な天地が包み込み、いつしか仏の道に誘い込む…。そんな勝手な私の思い込みを尻目に、彼らは黙々と歩き続けます。帰り際には「エイわ!」「(今度は)もう来ん!」と言いながら、次の年に懲りずにまた参加するメンバーたちの横顔が、気のせいかもしれませんが、少しずつ柔和になってきます。私がボランティアとして関わった時5歳だったFさんは、もう39歳になりました。残念ながら今年は調子を崩して入院中で、参加ができません。

「いつもは、ウーウー言うて、うるさくて一緒に寝られませぬのや…。しかし

今回ウーウーいう声のでえへんようになって、ほんとによろ寝られましたわ…。初めてお遍路さんさせてもらうと、本当に有難いですわ…。今はまだ働かんとあきませんけど、働かんでもよくなったら、是非お遍路さんしたいと思います…。」そう語る白髪交じりのお母さんの穏やかな表情の裏に、何度も限界を試され、言うに言えない苦悩のかけりが感じられました。

「今回はお母さんも一緒なので、歩くのは一日2キロほど…。雨に降られず無事に終わることが出来ました。また来年何とか調整して、最後のお遍路さんを成し遂げたい…。」そう語る施設指導員にも随分白髪が増えました。来年は白川学園の創立100年ということです。東京にある一番古い滝乃川学園は117年を迎えました。障害児者のための施設は、民間のゼロからのスタートでした。そしてまだほんの1世紀の歴史です。次の世紀をどうたどるのか？当然ながら私自身への問いでもあります。



鮎喰川クリーンアップ
当会代表杉浦が刈払機で草刈り

お知らせ

月の宮共同生活棟にて 電力の自給自足達成

太陽と緑の会月の宮共同生活棟に太陽光発電システムを設置し、生活棟で使用する電力を太陽光で自給できるようになりました。

平成19年12月に4.86kw、47枚パネルを設置、平成20年2月に1.62kw、9枚パネルを増設、現在6.48kw、56枚パネルのシステムが稼働しています。事務局の分と合わせると、太陽と緑の会全体では22.5kwとなります。

また太陽熱温水器については、不用品回収で頂いたものをこちらで修理・設置し(平成13年8月)、風呂・炊事等に使用してまいりましたが、この度、新たに温水器を設置しました。従来使用してきたリユース品は月の宮作業所に移設して使用、燃料費高騰の中、活躍しています。

月の宮共同生活棟は、平成5年4月より、様々なハンディを持ったメンバーの新たな生活の場としてスタートしました。徳島自動車道建設のため解体予定だった(株)木内工務店様の事務所兼倉庫建物を、木内昭社長のご好意により現在地に移築させて頂いたものです。多くの建築資材、照明器具、畳、サッシ、流し台、風呂、家具、食器類に至るまで全体の約8割はリユース品を使用し、木内氏をはじめ、地元のボランティアの皆様の協力も頂いて建設されました。

ここでは、当初より自然循環型生活システムを導入しており、生ごみはニワトリのえさ、もしくはコンポストBOXによって堆肥としています。ふん尿は2連の1200リットルのタンクで好気性細菌によって分解して畑に還元し、生活排水は排水池で処理しています。

太陽光、太陽熱の活用によって、この自然の恵みを活かした生活システムをさらに進めていきたいと考えています。



太陽と緑の会月の宮共同生活棟 56枚の太陽光パネルで電力を自給自足しています

共同募金でミニ耕運機を購入

障害者地域共同作業所 太陽と緑の会月の宮作業所にて、共同募金配分金 12 万円に自己資金を合わせ、ホンダ製管理機 (FU650L) 及びファイナル培土器を購入致しました。

月の宮作業所は平成 12 年 7 月に開所、自宅、グループホーム、施設などで生活する、様々なハンディ (身体障害、知的障害、精神障害など) を持つ方に、日中活動の場、作業訓練の場、社会参加の場を提供し、その人なりの自立の模索を支援してきました。

作業の一つとして、開墾した 1000 坪の畑での無農薬農業に取り組んでいます。トラクターは畑に放置されていたものを頂きこちらで修理しながら使い、畝と畝の間などトラクターでは耕しにくい部分は、不用品として頂いた管理機 (ミニ耕運機) を修理しながら使ってまいりましたが、年式がかなり古く補修パーツの入手が困難となり、使用の継続にも限界が来ておりました。

今回購入した管理機により作業効率も向上しました。管理機はハンディを持ったメンバーにも使用可能なため、メンバーの技術向上につながることができます。大切に使用して頂きたいと思っております。本当にありがとうございました。



ミニ耕運機



鮎喰川クリーンアップ

5月30日午前9時から正午まで、「第8回530（ゴミゼロ）の日キャンペーン」（とくしま環境県民会議主催）の呼びかけに合わせ、徳島市西部を流れる鮎喰川の河川敷（中鮎喰橋西詰）の一斉清掃及び草刈りを行いました。当会は平成13年（第1回）から毎年キャンペーンに参加しており、クリーンアップは今年で8回目となります。

当会の様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア計18名が参加、2トンダンプ2車分の不燃ゴミ、可燃ゴミ、空き缶等を収集しました。また刈払機3台により、道路沿い約1キロメートルの草刈りも行いました。収集したゴミは、当会で再資源化可能なものは再資源化し、それ以外のものについては徳島市のご協力を頂き適正に処理致しました。

鮎喰川
クリーンアップ



中学生職場体験実習

6月19日、20日、徳島市内の入田中学校中学3年生9名（男2女7）が、太陽と緑の会リサイクル作業所において職場体験実習を行いました。当会で働く様々なハンディを持ったメンバーとともに、不用品の回収、回収品の荷降ろし、雑誌の積込、電化製品の動作テスト、商品の陳列・整理などを体験して頂きました。本誌7ページに感想文を掲載しています。

体験実習



通常総会開催

6月14日午後6時半から午後9時、太陽と緑の会事務局にて平成20年度通常総会を開催しました。正会員9名が出席、平成19年度事業報告及び収支決算の承認を行いました。当会がストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会に出場したことに関する報道番組（四国放送、NHK）の紹介、昨秋リニューアルした当会ホームページの紹介、パワーポイントによる事業報告を行いました。質疑応答の場では、安全面の強化、車両管理の効率化、対外的なイメージのさらなる向上など、忌憚のないご意見を頂きました。今後の事業に反映していきたいと思っております。

体験ボランティア 2008

体験ボランティアは、様々なハンディを持ったメンバー、地元のボランティアとともに、太陽と緑の会が日常的に行っている、不用品・資源ゴミのリユース・リサイクル、無農薬農業などの活動を、ボランティアとして体験するプログラムです。

宿泊もできますので遠方からの参加も可能です。過去の体験ボランティアについては、ホームページに写真などを掲載していますので、ぜひご覧下さい。

< 日程 >

8月22日(金)～8月26日(火)

(1日、2日の参加も可能です)

< 開催場所 >

太陽と緑の会事務局

(生活棟での共同自炊による無料宿泊も可能)

< 定員 >

10名

< 参加費 >

1,000円

(ボランティア保険料他)

< 参加資格 >

高校生以上で当会の活動に興味のある方
自分のことは自分でできる方

< 申込方法 >

太陽と緑の会事務局までお電話、もしくはメールでお申し込み下さい。メールの場合、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記して下さい。

< 主催・申込・問い合わせ >

NPO法人太陽と緑の会事務局
徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL 088-643-1054
FAX 088-642-1054
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>



詩の朗読とギターのコラボレーション
毎月第3土曜日、太陽と緑の会リサイクル
作業所にて開催



イラスト 宇津君



新館レジ兼受付

職場体験実習を終えて

太陽と緑の会での職場体験実習を終えた入田中学校の生徒の皆さんより感想文が届きました。その一部をご紹介しますと思います。

私が一番責任を持ってしないといけないと思っただ仕事は、みそ汁を作ることです。あまり料理をしたことがないこととみなさんが食べるものだから、急に緊張してしまいました。メンバーの方が親切にみそ汁の作り方を教えてくれたから、なんとかかできしました。

私はセールの準備と新館に出す商品に値札をつける仕事をしました。とても大変だったけど、いい体験をさせていただきました。ほんとうにありがとうございました。また、機会があればお店に行きたいなあと思っておりますので、そのときはよろしく願っています。

私は、一日目に「雑土バ」のつみこみを作らせていただきました。体験してとても大変で苦勞するなあと思いましたが、おもしろかったです。二日目は「新館」の方でお仕事をさせていただきました。とても楽しかったです。ありがとうございます。それは「ラベル」です。

一日目の仕事では、意外と使える服がたくさんあることに驚きました。それに、セールの準備をするのは、思ったより大変でした。二日目は、ゴミを分別する苦勞を知りました。古紙を車から出すのも意外と体力を使って、びっくりしました。

スタッフ雑感

僕が太陽と緑の会にスタッフとして参加することになったのが1月下旬。それから、5ヶ月が過ぎました。その間、季節外れのインフルエンザになったり、扁桃腺を腫らせたり、通風(?)のような症状が出たりと、体力自慢の僕のプライドを打ち砕くような、少しの悲しい出来事と、仲間と一緒に作業を行う、充実した出来事がたくさんありました。

なかでも、なにより楽しいのは、仲間のコミュニケーションを取ることです。いろんな話をして、いろんな話を聞いて、一緒にご飯を食べて、一緒に笑う。そんな当たり前のことが、平凡ながら幸せなこととして僕の生活のひとつとなりました。数年前の自分が今の僕をみたら、目を疑うでしょうか。その頃の僕は、ほとんど引きこもりで、リサイクル活動にも全くの無関心でしたから。

そんな僕の生活が一変、毎日、リサイクル活動に関わる日々が始まりました。それまで僕の中でぼんやりとしていた、3Rとよばれる、リサイクル(再資源化)、リユース(再使用)リデュース(生産・消費減少)に関するイメージが少しずつ形作られていきました。再資源化しやすい材質の製品を選ぶ。商品を複数回使って製品のコストを下げる。手元にある商品を大切に使い、大量消費を前提に作られた商品はなるべく買わない。ですが、このイメージを行動と直結させることは、それほど簡単なことではありません。それまでの僕は、あまりにも大量消費の生活、資源無限の思い込みに慣れすぎています。太陽と緑の会での5ヶ月は、自

分の行動が伴わないことに悩む5ヶ月でもありました。

活動し始めてしばらくの頃、リユース(再利用)に関する、印象的な出来事がありました。とあるご夫妻が、お持ち込みの品として、「みずや」をお持ちくださいました。お話を伺うと、この「みずや」は、数年前に、太陽と緑の会でお買い上げいただいた商品だそうです。仕事柄、転勤が多く、たくさんの荷物を抱えての引越は骨が折れるとのこと。そこで、当会へ再度お持ち込みしていただいたというわけです。当会で販売している商品は、リサイクル商品です。そのリサイクル商品が、太陽と緑の会へと戻ってきて、再度、商品として店頭並ぶ。これは本当に嬉しいことでした。

ご夫妻の持ってこられた「みずや」には、中身が見えないよう、ガラスの部分にファイルが張られていたので、ファイルを剥がして、汚れを取ります。再び店内に陳列された「みずや」は程なくして買われていきました。この「みずや」は、作られてから3度(新品、前回、今回)目の持ち主のところへ貰われていったわけです。

製品のリユースを繰り返してリデュースを達成し、最後にリサイクルする(みずやはまだ現役で頑張ってくれているはずです)。このサイクルに、より多くの製品を乗せていくことが、今の僕のやるべきことのひとつだと考えています。でも、僕には体力がないことが判明したので、これからは頭を使いたいです。

(専任職員 宮浦 正浩)

メンバーのコーナー

太陽と緑の会に出会って

私が太陽と緑の会に入って今年で12年目になります。

私、自身にも色々な事がありました。

一番、ビックリしたのは、火事になった事です。

でも、いろんな方々に助けて頂いて、再建できました。

私の仕事は、レジをしています。

初めは、恥ずかしくて、挨拶するのができませんでした。

でも、今は自信がついてきて、挨拶もできるようになりました。

レジでお客さんと話をするのが、すごく楽しいです。

これからもお客さんに、失礼のないように、対応していきたいです。

でも今は、楽しく働かせて頂いています。

これからも、よろしくお願い致します。

馬区逐艦秋月

秋月は戦時中に6隻
は建造されました。
空母瑞鶴の護衛
について米海軍機とた
たかいました。

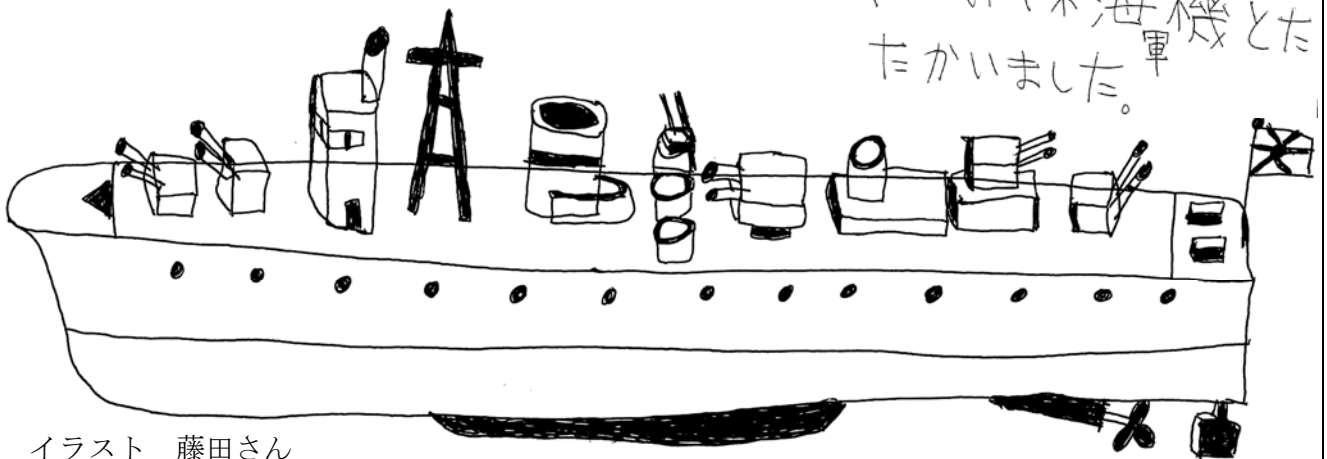


イラスト 藤田さん

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2008年4月1日～2008年5月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

堀江、森口、山田、浦松、石原金属株式会社代表取締役社長 石原 譲、匿名、小林、匿名、匿名、小畑・大塚、匿名、元木 絢子、匿名、匿名、野村 徳子、白川学園保護者一同

(以下郵便振替口座にご入金下さった方) 平島 康・智子、杉本 みその、平田 公美子、都築

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○県立看護学院、吉田、赤松、富永、徳島大工学部、関口、岡川、三好美容院、渡辺、森奥、香川、河野、大松、田野、沼田、北井、金田、伊勢谷、宮城、齋藤、森、山上、坂野、新居、木村、工藤、福永、ケアハウスあさがお、照屋、前林、武村、横井、松下、飯盛、堤、長谷、吉元、水上、田中、佐々、佐々木、池添、村上、杉山、猪後、西田、三原、新井、岡、村田、細井、美馬、鈴木、石原、仲島、東條、鴻池、青木、石山、河内、フォトハラダ、森宮、エルエル英語教室、蔵本、菅、橋本、学習塾、加集、小倉、なのはな徳島、佐藤、花瀬、白石、雫、宮城、藤崎、高井、栗林、黒川、岸上、坂東、富岡医院、徳川、横川、藤黒、小山、相田、黒田、岸田、沢田、山口、浅川、納田、中山、小川、姫田、七條、坂東塗装、月本、小林、吉内、谷、中、平田、谷沢、松崎、徳丸、名本、河野、朝日、三木、上地、久米、曾木、藤見、川人、上田、高原、北野、井上、田村、南條、ファミリーマート、東京屋美容院、三舟、山本、上田井、大野、佐藤、佐野、大倉、森長、米谷、宇野、生田、滝本、天羽、村上、徳丸、玉木、仁木、加根、三好、猪俣、杉原、三原、吉田、稲田、宇田、加集、武村、中島、インテリア長瀬、大和、矢野、北島、流、森泉、高橋、井口、藤本、細川、谷口、喫茶ピエロ、森友、井上美間、野ノ口、益田、宮本、山本、福原、交流プラザ、村沢、小原、石山、美濃、山田、西村、堀江、岸、藤村、木藤、草木原、浜田、佐々、川原、臼井、木下、雲財、県設備業協会、木内、大津商店、竹田、風尾、久米川歯科、竹内、秋田、小畑、鈴木、三浦、堀坂、松田、パソQ、楠根、正城、佐々木、藤永、市橋、福村、井内、奥山、ワタベサイクル、稲原、森本、井端、森口、中野、西木、フォトハラダ、広瀬、岸岡、高田兼松、市川、後藤、石川、長旗、奥田、芝、かもめつり具店、森尾、藤井、峰須賀、岡田、幸田、小野、バルネケ動物病院、出口、(株)ベーシック、面影、豊原、志摩、竹原、光山、伊東、松本、小林、益田、橋本、ビックスミルノクレーユ、稲木、田中法律事務所、太陽堂薬局、早見、水谷、○石井町○佐藤、滝川、中村、川村、佐藤、大西、森本、芝、上田、○小松島市○市原食堂、小原、久龍、竹内、岩瀬、近藤、喜多、岩本、中村、新田○鳴門市○浜、玉木、長畑○北島町○酒井、結城、増田○藍住町○豊田、橋本、大原、谷崎、坂東、真本、日下、浦松、日切、旗、平山、坂口、正木、速井○松茂町○山崎○吉野川市○岸田、木内土建○阿波市○吉川○板野町○三木

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○吉富、瀬山、友成、瀬戸、宮本、津田、湯川、大岡、名田、吉岡、大黒、生田、堤、山橋、真杉、岡島、三木、竹林、梶田、堀井、倉本、楠見、松倉、阿部、梅檀、豊田、鳥山、高尾、住友、永井、久米川、宗本、富永、谷本、井上、美馬、森、照本、前田、団、トレイシーカネシロ、エルダリーガーデン、バリケロジョゼマリオ、中尾、藤野、谷川、三国、平尾、八木、藤川、久保田、杉原、森内、船越、荒木、藤井、野澤、大塚、辻、杉本、井坂、堂久保、堀口、永井、賀川、玉野、湯浅、原、北田、中川、松尾、高倉、山田、梅田、大西、八田、伊川、出口、岡田、片平、山川、井上、片山、鎌田、山橋、二宮、玉木、原田、沖津、久保田、福家、盛、河崎、桜井、佐野、尾崎、中野、森本、織田、蓮池、清水、岩井、西岡、和田、近藤、樋口、稲井、島田、山崎、渡辺、兵頭、大和、五宝、福原、平山、山内、猪山、浅田、土井、鶴岡、二井、坂本、曾木、楨本、宮城、柏野、島尾、井本、小栗、上月、松島、前田、塩田、三木田、鴻野、井裏、大北、池北、朝日、稲垣、佐々木、杉本、松村、瀬尾、森積、酒井、青山、富林、堀尾、藤見、京寛、米澤、長尾、藤代、片山、山西、稲久、百田、川人、美馬、宮内、石橋、伊原、井本、川尻、田村、太田、宮島、井原、妹尾、東山、川田、三浦、伊藤、長田、水口、森、長谷部、新川、渋谷、東口、

原、田所、岩佐、山本、奥野薬品、猪児、浅野、金沢、蔭山、厚美、楠本、荒川、真鍋、松本、佐藤、照屋、桜井、齋藤、吉本、萩野、納田、宮井、宮崎、篠原、林、田中、岡本、山口、大隅、久米、川上、山田、馬場、西岡、川田、天野、以西、香川、森野、吉見、植松、日和田、弘瀬、北井、大野、勝本、宮下、浅尾、田岡、笹山、竹内、森田、吉田、片岡、青木、木内、長浜、岩脇、新居、三橋、梅岡、大島、井川、中原、長谷部、上野、黒崎、寺田、斎村、水田、池添、山溝、木村、橋本、赤松、一心運輸、甲斐、大櫛、芦田、黒田、福富、山花、西野、仁木、早見、鈴木、島、日笠、鈴江、高田、大住、横山、武田、高橋、長谷川、大滝、光山、美記、富田、安田、石原、岩崎、日下、武知、内村、長神、鷺尾、桑名、三谷、中山、旭、福田、藤本、椎野、榎本、岸、松田、岩本、岩瀬、田山、安井、山形、木藤、松浦、西川、荒井、幸田、丸山、大坂、小川、寺奥、力安、板垣、藤高、村谷、大磯、遠藤、水本、半田、志村、藤坂、真弓、寺西、大上、浅川、藪内、森下、富永、国宗、東條○石井町○富士蔭、芝、寒川、平田、金崎、林、近藤、伊勢、後藤、重井、吉本、宮本、桃井、遠藤、丸山、清水、尼寺、多田、久米、田中、森野、中村、田村、坂本、藤重、鎌田、岡本、中野、坂東、岡田、中山、矢車、岸上、矢野○鳴門市○福家、畑中、西條、濱堀、近藤、新居、野村、高麗、植町、檜原、中筋、芝本、村雲、野村、高田、賀川、三井○藍住町○小笠原、山本、石井、桜間、井出、市原、秦、大野、井上、前川、岡部、藤田、赤石、朝波、阿部、澤、山上、浦松、佐藤、上崎、片岡、岡田、西、森、三好、佐川、蔭本、河野、佐河、黒川、西川、高橋、小原、福良○吉野川市○井元、露口、長谷、大久保、福田、井内、岡本、三倉、栩窪、近藤、阿部、中西、石原、渡部、麻植、加本○小松島市○宮田、木内、中谷、坂本、杉本、阿部、山内、林、山城○阿波市○枝澤、尾崎、出口、森本、武田、笠井、野口○板野町○森川、大嶽、日高、楠本、橋本、林、高橋○上板町○糸山、米田、坂東、近藤○美馬市○大西、大道、小笠、北岡、五條○北島町○杉村、岸上、吉田、瀬部、西岡、高田、山口、中原、○阿南市○遠藤、近藤、布川、成松、高島、天羽、笠井○松茂町○中西、松崎、浜○上勝町○田中○吉野町○森口○東みよし町○松浦○海陽町○青木、神沢○香川県○横井、鈴江○愛媛県○金田、濱田○埼玉県○本田○東京都○檜原○神奈川県○石黒



新館裏の排水路の清掃

編集後記～作業所と体験実習～

先日、太陽と緑の会リサイクル作業所にて、入田中学校中学3年生が9名の職場体験実習がありました。昨年が続いて2回目となります。

「体験してみてどうでした？」と聞くと「思っていたよりもハードだった」「道具を使うことができ、楽しかった」との言葉が返ってきました。

ドライバーを使って扇風機の外カバーを外し、内部をエアで清掃したり、ラベラー、アンビタッチで値札をつけたり、初めての作業に真剣な表情で取り組んでいる光景が目に見えられました。

実習生のT君とM君がきれいに磨いてくれた扇風機はその日の午後、1000円でお客さんに買って頂くことができました。自分が手間をかけたものが誰かに使ってもらえる、ということはいずれ嬉しいものです。

インターネットが普及し、大量の情報が瞬時に得られるようになってきました。便利な反面、それらの情報だけで何となく分かったつもりになってしまう危険性もあります。今の時代、「実際に現場を体験する」ということが、ますます重

要になってきているのかもしれませんが。

入田中学校は徳島市南西部にあり、太陽と緑の会月の宮生活棟と月の宮作業所から歩いて20分くらいです。直通の交通機関がないため、3台のタクシーに分乗してリサイクル作業所に来られました。

地元の中学生の皆さんに来て頂いて、太陽と緑の会のことを知ってもらう。これは障害者地域共同作業所が地域に根差して活動していく上で大変意味のあることで、ありがたいことと思います。皆さんお疲れ様でした。(小山)



特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・地域共同作業所とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054 (事務局)
TEL・FAX 088-642-1054
(不用品リユース・地域活動支援センター)
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703
※この機関誌は再生紙を使用しています。